

## 世界臨床検査通信シリーズ-32 臨床検査に関する団体の活動

# EUCAST : The European Committee on Antimicrobial Susceptibility Testing

東邦大学医学部 微生物・感染症学講座 教授 石井良和

欧州諸国は、薬剤感受性検査のためのガイドラインが策定されており、それぞれ細菌あるいは真菌感染症に対する臨床的治療効果を予測するために異なる抗菌薬ブレイクポイントを使用していた。そこで、既にブレイクポイントを策定していた各国委員会と European Society of Clinical Microbiology and Infectious Diseases (ESCMID) and the European Centre for Disease Prevention and Control (ECDC) は、欧州諸国における検査法の標準化とブレイクポイントの調和を図ることを目的に資金を調達し、微生物検査の専門家のネットワークである、The European Committee on Antimicrobial Susceptibility Testing (EUCAST) を組織した。

EUCAST は、(1) European Medicines Agency (EMA) および ECDC と緊密に連携し、耐性菌サーベイランスを基に臨床的なブレイクポイントおよび疫学的カットオフ値の決定・検証・改訂、(2) 抗菌薬感受性検査法の開発・標準化の促進、(3) 抗菌薬感受性検査の精度管理、(4) 抗菌剤感受性検査の教育訓練の促進、(5) 抗菌薬感受性検査および耐性因子検出についての助言、(6) WHO など抗菌剤感受性検査や耐性菌の疫学に関わる国際機関への協力、(7) 臨床的ブレイクポイントと抗菌薬感受性検査法の国際的コンセンサス・調和を目指して作業を進めている。EUCAST の提案は、機密保持契約によって制限されない限り、Web site 上に公表され、だれでも閲覧することができる。

EUCAST の運営委員会は、ESCMID が議長、科学幹事、臨床データコーディネーター、技術データコーディネーターを任命して組織する。各国のブレイクポイント委員会（現在はフランス、ドイツ、ノルウェー、スウェーデン、オランダ、英国）は、EUCAST のメンバーとして4-6人を推薦して ESCMID によって承認される。メンバーはブレイクポイントの策定、耐性菌、感受性検査、PK-PD 理論に対する専門知識を有していることが要求される。

また、一般委員会は、欧州各国の代表者1名と EUCAST ガイドラインの提唱・発展に興味のある欧州以外の国の抗菌薬感受性検査委員会や臨床微生物学、感染症などの専門家から組織される。現在、オーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、モロッコ、ニュージーランド、ノルウェー、ロシア、セルビア、スロバキア、南アフリカ、スペイン、スウェーデン、スイス、オランダ、英国、トルコ、ウクライナの24か国のメンバーで一般委員会が組織されている。日本も積極的に参加して、日本の国益に叶う活動をする事が望まれる。

